

受理番号及び 受理年月日	所 管	件 名 及 び 要 旨	提 出 者
24 年－ 15 (24. 6.11)	教 育	<p>倉吉東高等学校補習科（仮称）設置について</p> <p>▶陳情理由</p> <p>昭和 36 年 4 月に設置され、51 年の長きにわたり浪人生の学力育成に当たってきた鳥取県立倉吉東高等学校専攻科は、平成 22 年 9 月の定例鳥取県議会における「県立高等学校の教育のあり方に関する決議」を受け、平成 22 年 11 月の定例教育委員会において、平成 24 年度末をもって廃止されることとなった。</p> <p>このことについては、謙虚に受け止めており、また、その決議に際しての、「専攻科に対する県民のニーズは依然として高いものがある」との議会の認識にも感謝しており、「高校 3 年間で自らが目指す進路を実現するための力を養うため、高校教育全体の質を高めるべき」との考え方も理解している。</p> <p>ただ、現実としては、どんなに力をつけようとも浪人生が出ることは不可避であると考えられる。また、近年の倉吉東専攻科の存在は、浪人生を支援するだけでなく、現役生にとっても大きな刺激となっている。専攻科生の真摯に勉学に取り組む姿勢は、多くの現役生が、“行ける大学”ではなく“行きたい大学”を果敢に受験しようとする姿勢を持つことにつながっている。さらに、専攻科・現役生合同の補習等をとおして、確かな学力を付ける上でも大きな役割を果たしてきている。</p> <p>このような現役生と専攻科生との相乗効果により、近年の本校の進学実績は、東京大学をはじめとする難関大学や国公立大学の合格者数において、学年定員 200 名規模の公立高校の中では全国屈指となっている。</p> <p>しかし、専攻科廃止後の県中部の浪人生を取りまく状況は、生徒・保護者にとって安心できるものではなく、都会と比した教育環境を考えると、実際には子どもたちの願いを叶えていくことは非常に困難なことだと思われる。</p> <p>これまで、倉吉東高等学校が担ってきた高い志を持つ人材の育成という使命を果たし続けていただくためにも、本校卒業生だけでなく、県内の他校出身者も受け入れることができる専攻科廃止後の新たな受け皿として、私たちは補習科（仮称）を設</p>	<p>倉吉東高等学校育友会 会長 西 田 寛 司 (倉吉市下田中町 801)</p> <p>外 1 名</p>

		<p>置したいと考えている。また、授業が充実したものとなるためには、中部地区で不足傾向にある退職教員だけでなく、現任教員にも教科・進路指導に当たっていただく必要がある。補習科（仮称）を校内に設置することができれば、一部現任教員による指導も可能となり、そのことによって子どもたちを安心して任せることができる。</p> <p>▶陳情事項</p> <p>倉吉東高校PTAや同窓会などの「民」の力により、隣県にも設置されている補習科に類似した新たな体制・組織を立ち上げ、運営したいと考えている。</p> <p>以上の理由を勘案の上、平成25年4月からの倉吉東高等学校補習科（仮称）設置にご理解いただくとともに、次の事項について許可していただくよう陳情する。</p> <ol style="list-style-type: none">1、鳥取県立倉吉東高等学校施設の一部使用2、鳥取県立倉吉東高等学校一部教員による教科・進路指導	
--	--	--	--